

# 総額411億2,200万円

新年度予算は、3月5日に開会した市議会定例会に上程、26日に各上程議案が可決され、閉会しました。

## 一般会計予算

一般会計予算規模の総額は、前年度一般会計当初予算（134億7千200万円）に比べて、1.71%増（2億3千万円）の137億200万円となっております。本市の平成20年度普通会計決算では、単年度収支が145万9千円の黒字となり、平成14年度以来6年ぶりに単年度収支を黒字とすることができました。しかし、累積の赤字額は約5億8千3百万円を計上しており、21年度決算についても、長引く景気低迷の影響を受けた税収の減などで、赤字額の削減がなかなか進まない厳しい状況が予想されています。今後は、新たに策定された「集中改革プラン（第2幕）」を着実に実行することで、持続的に単年度黒字を計上できるように目指し、その上で累積赤字額の削減・解消に向けて取り組んでいかなければなりません。平成22年度の予算編成に当たっては、このような厳しい財政状況のなかで、「普通会計の実質収支の赤字比率に係る許可団体移行水準以下かつ収支均衡型財政」への転換をテーマに、特に本市の重要課題である「子育てがしやすいまち」と「安全・安心のまちづくり」に重点を置くとともに、雇用対策・景気対策にも配慮した予算編成としました。

☆ミリカホール運営事業、和田島緑地運営事業など

### 【産業の振興】

☆生物多様性農業推進事業、農村ルネッサンス事業、ブランド産地「競争力」整備事業、漁業経営基盤整備事業など。

【働きたい人が働ける環境づくり】

☆緊急雇用・ふるさと雇用事業、シルバー人材センター運営補助事業など。

【快適に暮らせる生活基盤の整備】

☆ごみ収集車更新事業、公営住宅火災報知器設置事業、小集落外壁改修事業、防衛施設周辺整備事業、市道整備事業など

### 【魅力ある都市基盤の整備】

☆都市計画マスタープラン策定事業、本港地区港湾敷地管理事業、高速道路対策事業など

## 主な普通建設事業は次のとおりです

（百万円未満は四捨五入）

☆地域活性化、都市基盤整備事業 1億3,000万円

☆公営住宅建設事業 3,100万円

☆庁舎、福祉施設整備事業 1億1,800万円

☆文教施設整備事業 1億2,600万円

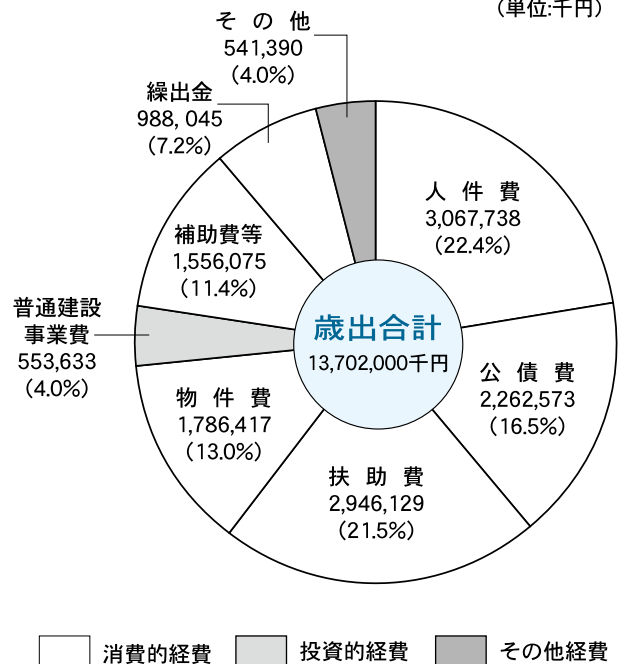
☆農林水産事業 2,900万円

☆道路・河川整備事業 4,900万円

☆環境衛生整備事業 7,000万円

## 一般会計歳出（性質別）の状況

（単位：千円）



## 特別会計予算

### 【競輪事業特別会計】

地方公共団体の財政資金の調達を目的として設けられている収益事業です。21年度に赤字決算が見込まれることから、繰上充用金3億円を計上しています。4月に開催する「共同通信社杯春一番」の経費増等により、前年度比28.5%の増となっております。

### 【後期高齢者医療特別会計】

原則75歳以上の方が加入する医療制度です。県下の市町村が加入する広域連合への納付金を支出します。前年度比14.3%の増となっております。

### 【住宅新築資金等貸付事業特別会計】

前年度比1.9%の減となっております。

### 【老人保健医療事業特別会計】

老人の医療給付を行うための事業でしたが、後期高齢者医療制度へ移行したため、今年度末をもって廃止となります。前年度比66.8%の減となっております。

### 【土地取得事業特別会計】

公共用地を先行取得するために必要な事業です。前年度予算と同額となっております。

### 【介護保険特別会計】

介護保険制度を社会全体で支えるための特別会計です。前年度比2.0%の増となっております。

### 【公共下水道事業特別会計】

社会資本整備の一翼を担う事業で、生活排水や雨水等をきれいにし、河川や海域の水質を保全し、環境